

## 台風18号被災地・釧路町－厚岸町－浜中町を行く はたやま和也道政策委員長、森つねと国政相談室長と地元町議



町職員から道路決壊状況の説明を受けるはたやま、森の両氏（20日浜中町）

台風18号は、北海道でも大きな被害をもたらしました。はたやま和也政策委員長と森つねと国政相談室長は地元町議とともに床上浸水、断水、避難所生活が続いた道東の釧根地域の釧路町はじめ、厚岸町、浜中町に入って現地を視察して住民を激励し、町長や農協組合長から要望を聞きました。「床上浸水で畳は水をかぶり使い物にはなりません」という81歳の男性は「引っ越しも考えなければ」と力なく語り、農家の男性は、「牛舎の屋根が吹っ飛び、停電のために搾乳ができず、飼料の牧草は泥水に濡れてしまって食べさせることができないし、牛はストレスが…」と途方に暮れた表情で当時の状態を話してくれました。

### 家屋や樹木の倒壊、道路決壊など各地に爪痕



突風で吹き飛んだ牛舎の屋根・厚岸町



大雨で決壊した橋と町道・浜中町



がけ崩れで一部倒壊した釧路町別保神

### “被災者生活支援法を適用し全被災者を支援の対象に” はたやま政策委員長は「政府に要請します」と

猛威を振るった台風18号は京都はじめ関西、北陸などに大きな被害をもたらしました。北海道も釧路町役場庁舎が浸水するなどこれまでにない被害を受けましたが、農協関係者は「農協だけでは対応は難しい。行政にもお願いしなければならない」と語り、町関係者も「一自治体だけでは財政力から困難なこともあり、道や国と相談したい」「災害復旧は国の補助は現状復帰まで。これでは同じ被害は繰り返される」と指摘していました。はたやま和也政策委員長は、「国や道に働きかけたい。自治体単位で被害を見るのではなく、一連の台風被害として被災者生活再建支援法を適用することも求めたい」と表明しました。

### 地区委員会と町議、支部が被災者を見舞い、激励し後片付けのボランティア

釧路町では床上50cmまで水がつき、台風が過ぎ去ってから地区委員会ははじめ、議員、支部が駆けつけて、被災者を見舞い、畳出し、壁や床拭きなど後片づけボランティアをして激励しました。国会議員団事務所としても国や道への要請を行なう予定です。  
(写真は谷口、石沢両厚岸町議と、はたやま、森両氏)

